



○笠懸地区検討委員会 第2回委員会の協議内容と得られた方向性について

| | |
|---|--|
| <p>〈協議①〉 児童数の推移から、4校配置を維持するのか、3校配置とするかについて</p> | |
| <p>意見の概要</p> | <p>①小学校は、徒歩通学を通して地域の中で様々な人と関わりながら人間関係やルールやマナーを学んでいくもの。3校配置になって、徒歩通学が難しくなれば、子どもの学ぶ機会が減るのではないか。</p> <p>②体力の面からも小学校のうちは徒歩で通学することが望ましい。ただでさえ、外遊びをする機会が減っている中、バス通学は心配だ。</p> <p>③朝の登校の際に、保護者が送っている家庭が多い、通学距離が長くなれば、さらに車で送る家庭も多くなる。</p> <p>④教育委員会の資料を見ても、笠懸の小学校は2クラス以上が当面の間維持されることが分かる。この現状からも4校配置でよい。</p> <p>⑤笠西小の新設により、若い世代の人口増が感じられる。4校配置に賛成だ。みどり市の子ども施策の効果が始めていると感じている。</p> <p>⑥現在の人口増につながる施策が実施されているが、さらにアピールしていくことにより、人口増につなげられるのではないか。</p> <p>⑦配置については、教育委員会の基本方針にあるように笠懸小学校の南への移転がベストだと思う。配置バランスがよく、笠懸小学校が2つの中学校に分かれる現状もさけられる。</p> <p>⑧笠懸小今の位置での改修は、子どもへの影響が大きい。工事をしている状況の中で、子どもたちが学習する状況は避けるべきだ。</p> |
|  | |
| <p>得られた方向性</p> | <p>①児童の教育環境、児童推移、人口増への観点から4校維持の方向が望ましい。(継続協議)</p> <p>②4校維持の場合、学校配置については教育委員会の基本方針のように笠懸小の南への移転が望ましい。(継続協議)</p> |

| | |
|---|---|
| 〈協議②〉 給食提供方式について | |
| 意見の概要 | <p>①センター方式と自校方式の両方の給食を経験しているが、みどり市の場合給食のおいしさは全く同じ。食育を推進していく上でも差はない。</p> <p>②私の子どもは、自校方式もセンター方式も食べてきたが、味のクオリティーは同じ。学校でセンター方式の給食試食会が開かれたが、センター方式に否定的な意見はない。</p> <p>③センター方式でよいと思う。物価高への対応や食育、ふれあいなどそれぞれ充実するよう検討していけばよい。</p> <p>④センター方式に反対している人の根拠はなにか。予算を考えたら、センター方式がよい。</p> <p>⑤笠懸で育った人にとっては自校方式に愛着はある。自校方式しか知らないので自校がよいと感じているのではないか。保護者も巻き込んでセンター給食を食べる機会を今後も設けていくとより理解が得られると思う。</p> |
|  | |
| 得られた方向性 | <p>①児童や保護者の受け止め、クオリティー、財政面からもセンター給食の方向でよいのではないか。（継続協議）</p> |

※ 〈協議③〉 他地区の検討委員会の協議を受けて（大間々の小規模校化を笠懸が補う、あるいは、笠懸町と大間々町を一体的に考えて学校区を見直すこと）について

以下のようなご意見をいただきましたが、大間々地区検討委員会の今後の協議によって、あらためて提案させていただきます。

- ①笠北小と大東小については、どちらの学校を選択してもよいエリアがあってもよい。
- ②学校ごとに勉強やスポーツなど特徴を出してもらった上で、学区をなくして自由に学校を選択できるようにしても面白い。
- ③前橋市は、かつて学校選択制を導入していたが、現在は行っていない。長所短所についてよく理解して検討をすることが大事。